

町を守る消防団

湯前中学校

三年

恒松

明美

私の町には消防団がいくつもあります。各  
 地区に1つずつです。消防団の方々は、週1  
 ぐらいのペースで練習を行って、いますよ。  
 夕方7時ぐらいから集まり、木曜日水かけ  
 を行なっていきます。消防団の方々は  
 は、消防署にいらして、仕事をする方々と同じくらい  
 危険で大変だけれど、すばらしい仕事をしています。  
 らっしやろと思えます。

私がまた小学生低学年だったころのことです。  
 す。地区にあるスポーツカーから火事のサイレン  
 ンが鳴りました。夜8時ごろのことです。私  
 のお父さんも消防団に入っていて、いたため、大急  
 ぎで準備をしていました。消防団のハツピには  
 ヘルメット。お父さんは、火事現場に行こう  
 としていましたが、正直、お父さんには行か  
 ず、ほしくありませんでした。私のほ  
 びが火の中に入ると、お父さん、お父さん、お父さん、  
 う。火の中に入ると、お父さん、お父さん、お父さん、  
 死んでしまった。



やじ馬分ぞ見に行ったら、友達の家の近く  
ぞれた。火が友達の家に向うところか心配ぞり  
りりしました。でも、消防団の方々がホ  
スぞ水を出してくれ、思ってたより早く火が  
消えました。友達の家に燃えうつ子ともな  
く木ツとしました。

消防団の方々は年に一回、大会があるとう  
ぞす。大会が近づくと、ほぼ毎日時から練  
習をし、いらっしやいます。私は消防団に入  
ったさいし、どんな練習をしるか知らない

けれど、大会のために一生懸命練習して、私た  
ちからという申体連めたいだと思いた。

消防団の方々は、大会ぞ優勝したり上位に入  
ったりするところが目標だけど、まんが一の時  
は、とまどいたりしないようにしているんだ  
と思いた。

私は女の子ぞす。消防団に入れるのは男の  
人ぞす。私は消防団には入ることぞがぞきない  
けれど、だれかを助けることぞのぞきする人になり  
たいぞす。私は消防団の方々を尊敬していま

す。人のためにこんな大変なことが起るの  
で、すからか、こいこいす。

私の地区の消防団の方々は、知ってる人が

何名もいらっしやいます。テニシヨニ高くマ

練習がおわると、飲み会を始めるとだけ

ここにどというときは、真剣にやってくれ

方々ばかりです。そんな方に守っていただけ

いといる私の地区は、とても幸せだし、安心が

きるの、ではないかと思えます。